



漬物について

京の三大漬物といえば、「しば漬」、「すぐき」、「千枚漬」ですが、7月はしば漬が旬の季節になります。そこで今回は、家計調査（二人以上世帯）の結果を基に、京都市の漬物の支出金額について調べてみました。

家計調査では、漬物を「だいこん漬」、「はくさい漬」、「他の野菜の漬物」の3種類に分類して調査をしています。2016年から2018年及び2019年から2021年の1世帯当たりの漬物の年間支出金額をみると、他の野菜の漬物について、京都市は2期間ともに都道府県庁所在市・政令指定都市中1位でした。

(表1)

表1 1世帯当たりの他の野菜の漬物年間支出金額 都道府県庁所在市・政令指定都市ランキング

順位	2016年～2018年平均		2019年～2021年平均	
	年間支出金額(円)		年間支出金額(円)	
	全国	5,084	全国	5,098
1位	京都市	7,820	京都市	6,950
2位	山形市	6,698	山形市	6,822
3位	大津市	6,549	前橋市	6,540
4位	奈良市	6,443	千葉市	6,414
5位	前橋市	6,415	東京都区部	6,227

※1 だいこん漬について、京都市は、2016年～2018年平均で1,179円(15位)、2019年～2021年平均で903円(45位)でした。

※2 はくさい漬について、京都市は、2016年～2018年平均で598円(19位)、2019年～2021年平均で386円(44位)でした。

出典：総務省「家計調査（二人以上の世帯）」

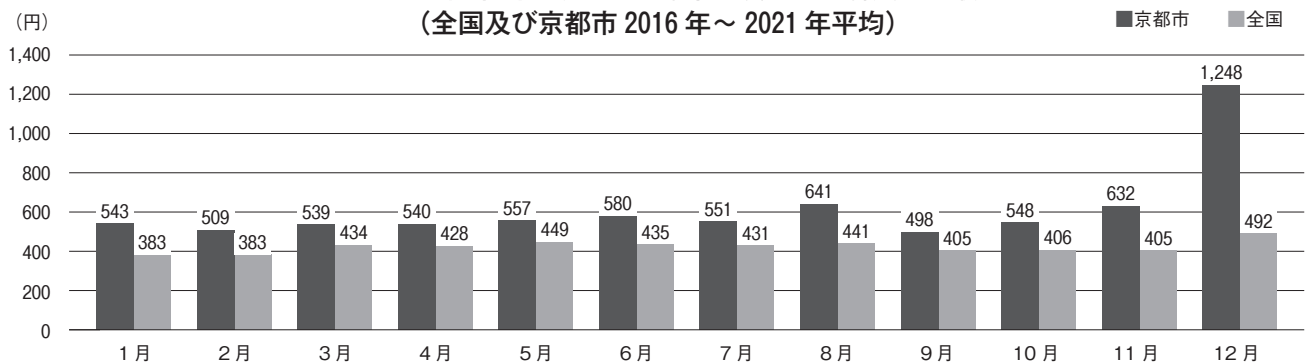
他の野菜の漬物について、さらに詳しく調べていきます。家計調査（二人以上の世帯）で、2016年から2021年の各年の月毎の他の野菜の漬物の支出金額の平均を算出し、京都市における1世帯当たりの他の野菜の漬物の月別支出金額をみると、12月の支出金額が最も多くなっており、次に多い8月の支出金額の約1.9倍になっています。

なお、全国の支出金額は、12月の支出金額が最も多いものの、次に多い5月の支出金額と比べて約1.1倍でしかありません。京都市では、他の月と比べて、12月により多く他の野菜の漬物を購入していることが分かります。

(図1)

京の三大漬物は、家計調査では他の野菜の漬物に分類され、さらに、すぐきと千枚漬は冬が旬の漬物になります。京の三大漬物が京都の家庭に広く親しまれていることが、12月に支出金額が増えている要因かもしれませんね。

図1 1世帯当たりの他の野菜の漬物の月別支出金額 (全国及び京都市 2016年～2021年平均)



出典：総務省「家計調査（二人以上の世帯）」

京の三大漬物：「京漬物.com 京の三大漬物 京都府漬物協同組合（公式サイト）」参照